

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	開設3年目として施設独自の理念を見直して職員間で共有する。	施設全体会議で職員全体の考えをまとめ、施設の「誓い」として掲示していく。	3ヶ月
2	3	事業所の力を活かした地域貢献	朝の外回り清掃だけでなく、地域活動に積極的に参加していく。	職員が地域と連絡を取り公民館行事や夏祭りなどに積極的に参加していく。	6か月
3	6	身体拘束をしないケアの実践	身体拘束禁止について職員間の意識を向上させていく。	毎年身体拘束の研修は実施しているが、鍵やセンサーマットの使用について職員間で話し合い理解を深めていく。	1年
4	26	チームでつくる介護計画とモニタリング	職員がケアプランを熟知して個別ケアの徹底ができる。	介護計画を日々の介護記録の見開きに貼って、ケアプランに沿ったケアを日々実施していく。	1年
5	11	運営に関する職員意見の反映	職員が自ら考えて提案できる場の提供と、良い意見であればすぐに実行していく。	会議の場だけでなく、職員の提案はいつでも受け付けて検討し、できることから実行していく。	1年

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。